

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回宍粟市観光基本計画検討委員会	
開 催 日 時	令和4年3月25日（金）15：00～16：00	
開 催 場 所	宍粟市役所 3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	三宅 康成	
委 員 氏 名	（出席者） 上野徳之、片桐幸之助、西山大作、 中元淳、榎谷米男、志水啓吾、 坂口雅彦、内田佳希（代理）、 廣重希美、加藤智子	（欠席者） 岸本欣也、前井真貴
事 務 局 氏 名	商工観光課：藤原課長、上杉係長、前野主査、久保	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1. 計画等の考え方について 2. 骨子案について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等		
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ ⑩	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1 開会
委員長	年度替わりの時期で大変忙しいと思うが、スピーディーにしつつも、できる限り慎重に審議をしていただき、骨子を取りまとめたいと思っている。
事務局	2 協議・報告事項 (1) 計画等の考え方について 事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より説明
委員長	次に、(2) 骨子案について 事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より説明
委員長	骨子というのは、基本的に自由度が高く方向性を示すもの。素案の段階で、意見を具体化していくので、現段階では「検討する」や「次の素案で」といった表現が多くなっている。今回は基本的な方向性が違うと感じる部分を皆様に検討していただく必要がある。これらをふまえ、ご意見、ご質問等ございましたら発言をお願いします。
事務局	骨子というのは方向性を決めるものであり、皆さんの意見もいただきながらこの場で決まったものを、次の素案策定に向けて進めていく。方向性が市の方針と違うことがあってはならないので、この計画の骨子が出来た段階で、市の内部で、政策決定をする必要がある。そのうえで骨子が決定すると、次回以降に肉付けをして素案を作っていくという流れになる。方向性に大きな違いがないかという視点でご意見をいただきたい。
委員	第2次計画では「組織化」という言葉が抜けていたので、これまでに観光プラットフォームの組織化ができていなかったと感じている。どのような表現がわかりやすいか今後検討していくということだが、「組織化」の明記がないこともありうるのか。 観光協会、観光部局、市民団体等の役割が条例で記載されているため、骨子では明記しないとなっているが、他の項目では条例に明記されていることでも明記されていることもあるが、そのあたりの整合性はいかがか。 観光振興となると、今ある観光資源の見せ方ばかりになりがちだが、もっと観光商品を整備する必要がある。観光資源の発掘と開発という考え方を骨子に盛り込んでいただきたい。 「部局を超えた協力体制を強化する」といった文言を、明記することで各部局に積極的に観光基本計画に参加してほしいと思っている。 観光の将来像について、エコの考え方を盛り込んで、自然環境や歴史遺構、文化や伝統の理解と保全を図っていくという、文言を追加していただきたい。
事務局	プラットフォームの組織化については必要だと考えている。骨子案に盛り込むかということに関しては他の4点にも共通して言える事だが、今後の素案のところでは、わかりやすく、そういったところも盛り込んでいくべきかとは思っている。今回は、検討するなどといった回答が多く後ろ向き

	<p>に捉えられるかもしれないが、必要だとは考えている。</p> <p>それぞれの観光に関わる皆さんの役割の明記についても、素案の中で具体的にかけたらと考えている。</p> <p>観光資源の発掘や観光商品の発信の仕方についても、発信していくということは、大きな方向性としては当然必要なことということで捉えているので、これも同じように素案の中で肉づけしていきたい。</p> <p>部局を超えた協力体制については、これは当然のことであり、市の総合計画の中でも定住促進、人口減少対策の重点施策ということで、まちの魅力を高めることは産業部全体で担っている。全庁的に共通認識を持っているということも大前提なので、あえて骨子の中で書くというよりは、具体的に素案の中で、各部局の連携方法の明記などで対応出来たらと考えている。</p> <p>エコツーリズム等の将来像について、各地域でいろいろな取組がされている。具体的に明記するというのは、素案のほうで対応したい。</p>
委員	<p>観光資源の有効活用のなかで、観光施設の機能強化と…とあるが、これだと観光資源の有効活用が観光施設だけのように捉えてしまうように感じる。例えば現存の観光資源の発信だけでなく、資源の見直しや発掘といった、宍粟市のポテンシャルを見出していくような部分が必要ではないかと感じた。また、ふるさと宍粟の観光基本計画の具体的な取組づくりの主語にあたるのは、具体的に誰になるのか。</p>
事務局	<p>ご指摘のように、観光施設の機能強化とあると施設だけに見えてしまう。項目としては観光資源の有効活用としているので、自然を含めたいろんな素材を資源とすることを、わかりやすい表記に改めさせていただく。主語が何かということについては、取組づくりの大きな項目に向かって、それぞれがそれぞれの役割を果たしていただくということを素案の中で表記していくことで考えている。誰がという特定のものを指すのではなく、市民の方、行政、観光に関わる団体の方、様々な方と一緒に取り組んでいくイメージである。</p>
委員長	<p>具体的に主語を明記してしまうと、それ以外の方がやれなくなってしまふ。例えば、市外から来て、観光の手伝いをしてくれる人等も含まれるので、必ずしも市民だけではなく観光に関わる全ての人だと考える。</p>
委員	<p>関わる全ての人だと思うが、そうなった時に、普段観光のことを考えていない人も宍粟をどうやったら盛り上げられるのかを考えてもらうための仕組等も必要だと考える。</p>
事務局	<p>例えば、1次、2次の計画では、ひとづくり、ものづくり、ことづくり等の項目に観光に関わる全ての人それぞれが主語になって関わっていただくイメージである。</p>
委員	<p>実行主体はどこになるのか。</p>
事務局	<p>あえて主語を書いてないのは、自由度を上げるといった捉え方で方針としてもっておいて、それぞれの取組で具体的なことを明記し、手法を明確にしていくというのが、素案の位置づけだと考えている。</p>

委員	推進主体がプラットフォームというのは少し違うと考える。推進のための協力体制というほうが正しいのではないか。
事務局	そこは骨子の中で矛盾する点がないように整理する。プラットフォームは、全ての皆さんに参加いただくわけにいかないが、市民の代表も含めて、観光についての取組を協議していただける場ということで捉えている。その辺りを少し整理しながら、体制、推進主体も含めて整理してみたいと思う。
委員長	言葉の概念は人によって理解が違うので、同じ姿を思い描かれているかわからないのが不安ではある。
委員	最近、観光推進において、DMOを立ち上げるケースもある。観光プラットフォームというと、ボードがあってプレーヤーが集まる、場所はあって自由にできるイメージ。それに対しDMOは、もう少し主体性があるイメージ。選択肢があると思うが、どちらを選択するのか、現段階での見解があれば教えていただきたい。
事務局	DMOの設立に関しては、まだ具体的に市のほうで方針をしっかりと持っているような現状ではないので、現状の観光協会を中心としてプラットフォームを動かしていく中で、例えばいろいろと収入を得るような組織になってくると、現状の観光協会の形態では運営も難しくなってくるので、その時点でDMOのことを考える必要があるかと考える。現時点では、DMOを目指してプラットフォームを組織するといった具体的な目的があるというよりは、観光を皆さんと一緒に進めていくという段階での組織をイメージしている。
委員	しそく森林王国観光協会は組織としては公益財団法人なので、収益をもとめてばかりではいけない。今後、例えばデジタルを活用したショッピングなどを行うなど、公益財団法人の枠の中でできる範囲のことは行うつもりである。それが将来的にもっと経済効果を上げることも目的とし、条例であるように皆が寄り集まって、意見を出すプラットフォームを充実させていくという組織がうまくまわりだせば、DMOも将来的には検討していく必要がある。ただ、現状は公益財団法人で問題ないと思っているので、このまま進めていきたいと考えている。地域づくりミーティングの中で、プラットフォームの組織化を目指して立ち上げようということで合意を得ている。できればミーティングの中では、4月か5月に、組織化を目指したものを提案したいと考えている。
委員長	骨子案の方向性には問題ないと思っている。委員の方からいただいた意見を、素案の中で落とし込んでいけるものだとして理解している。また、具体的な取組内容の文言等、事務局預かりで多少文言も修正する部分があるかもしれませんが、おおまかな流れとしてはこれでお認めいただいたということではよろしいでしょうか。 (異議なし) 異議がないようですので、このとおりで決定させていただきたいと思えます。ありがとうございました。

副委員長	<p>4 閉会</p> <p>お疲れ様でした。兵庫県もまん延防止措置が解除されたが、年度末年度初めで人の移動も増えるので、引き続きコロナの状況には注視していく必要がある。事務局からあったように、今回、骨子が出来上がって次回から肉付けの部分になる。具体化していく中で皆さんの意見がいかに関反映されていくかというところで、より一層活発な議論が想定される。引き続き体調には十分ご留意いただき、次回の会議に備えていただけたらと考えている。</p>
------	---

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。